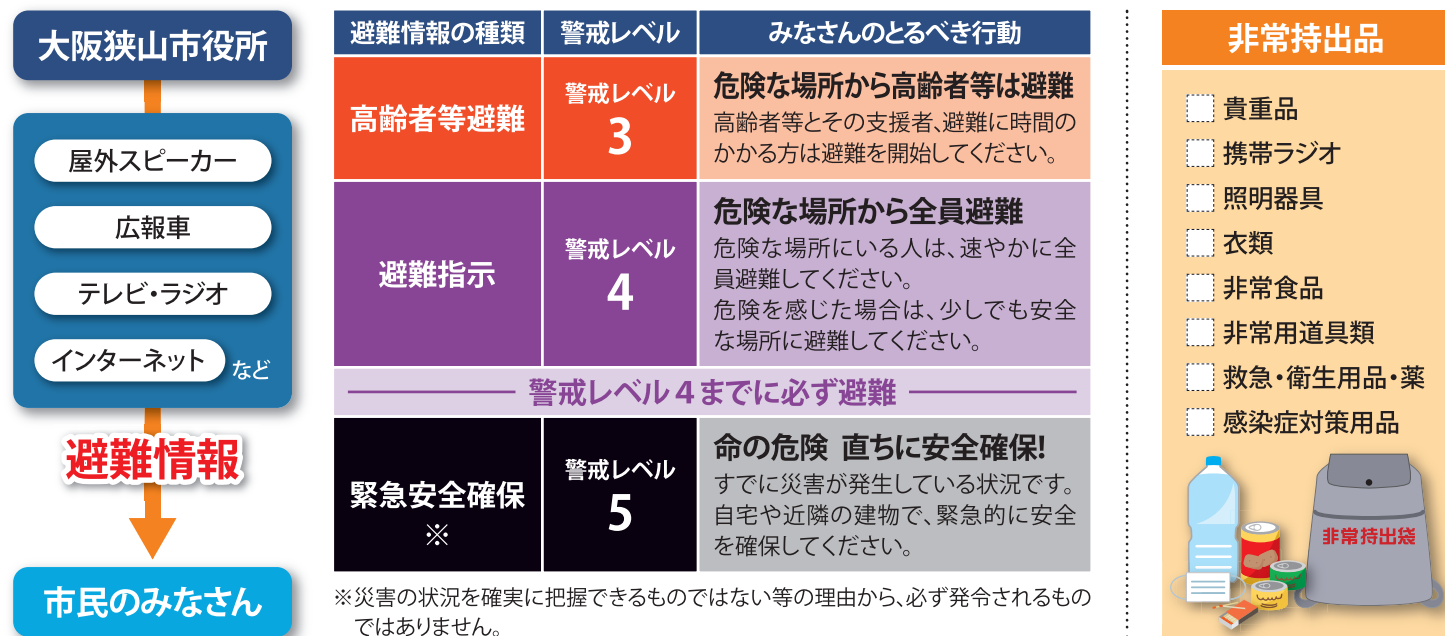


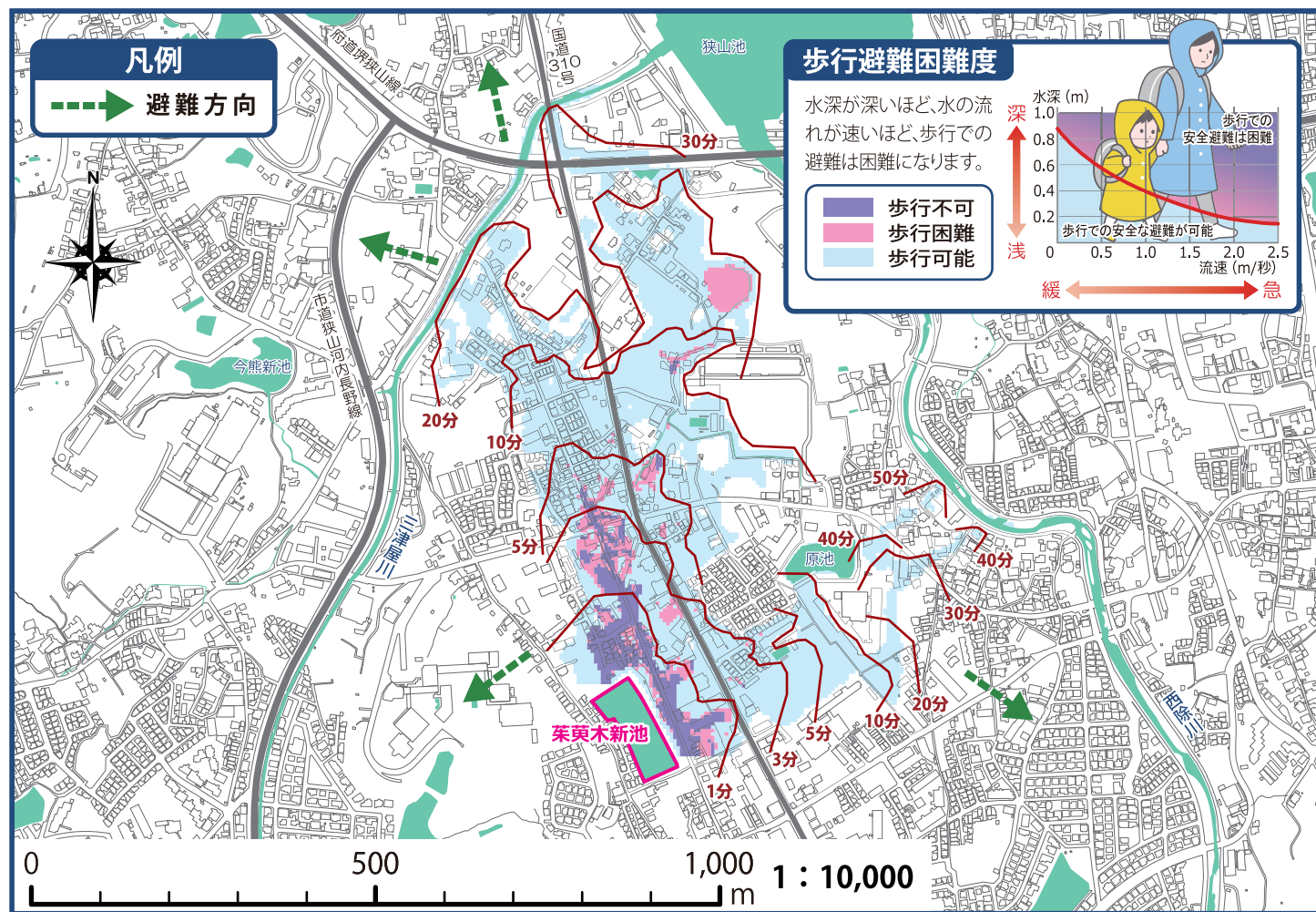
3 避難情報の伝達（避難情報が発令されたら速やかに行動しましょう）

市では、災害の危険性が高まり、避難が必要となる場合に避難情報を発令します。



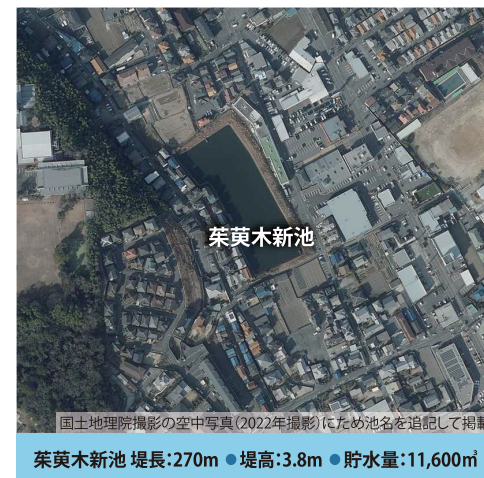
4 歩行困難度と避難行動（危険度に応じた避難行動を考えましょう）

自宅から指定避難場所までの避難経路の歩行困難度を確認し、避難中の決壊に備えて、一時的に避難できる場所を把握しておきましょう。歩行不可となっている箇所は、水の勢いで流されてしまうおそれがあるため、特に注意が必要です。



測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 6JHs 697

この「ため池ハザードマップ」は「茱萸木新池」が決壊した場合に想定される浸水区域や水深、および避難に役立つ情報をとりまとめたものです。災害のおそれがあるときの情報収集や、災害時の避難行動に役立ててください。



大雨や大地震のあとは注意しましょう。



- ため池の被災要因の多くは、大雨と地震です。
- ため池の被災は、堤体に亀裂が入ったり、堤体から漏水が発生したりなど様々な形態があります。ため池の異常に気付いたら、すぐに下記まで連絡してください。
- 万が一ため池が決壊した場合、多量の水が短時間で押し寄せてくる可能性があります。大雨や大地震のあとは情報収集につとめ、避難情報が発令された場合や、身の危険を感じた場合は、早めに避難しましょう。

ため池の 異常発見時の連絡先	市役所	堺市大阪狭山消防署	黒山警察署
	072-366-0011	072-366-0055	072-362-1234

1 ため池ハザードマップの活用方法（日頃からの備えが大切です）

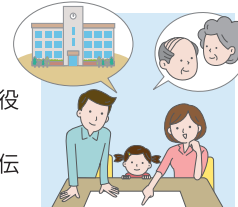
1 想定される浸水区域や深さなどをチェックしましょう。

- 想定される浸水区域や深さなどをチェックし、災害時の様々な事態をイメージしましょう。



4 日頃から家族や地域で話し合ひましょう。

- 災害時に協力し合えるよう、家族や地域で役割などを話し合ひましょう。
- 避難時に支援が必要な要援護者への情報伝達や補助内容を決めておきましょう。



2 避難場所を決めておきましょう。

- 浸水深やはん濫水の到達時間より、どこへ避難するかを決めておきましょう。
- 浸水深が0.5m以上(1階の床上相当)の区域は、緊急避難できる身近な場所も探しておきましょう。



5 防災情報の入手先を確認しておきましょう。

- ため池の堤体が被災すると、短時間で決壊に至る可能性がありますので、日頃から防災情報がどこで入手できるかを確認しておきましょう。



3 避難場所までの避難経路を考えましょう。

- 避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう。
- 避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所を探しておきましょう。



6 市の公表している他のハザードマップもご覧ください。

- 市では、洪水・土砂災害を対象とした防災マップも公表しています。このマップと併せて活用し、災害学習を深めましょう。



2 防災情報の入手先（正確な情報を入手しましょう）

大雨や地震の時は、テレビ、ラジオ、インターネットなどで最新の情報を確認し、早めの避難に備えましょう。

名称	情報の種類	ウェブサイトアドレス
おおさか防災ネット	府内の気象情報・地震情報・災害情報など	http://www.osaka-bousai.net/pref/
		●防災情報メールに登録しましょう 事前登録を行うと防災情報がメールで配信されます。 登録方法: touroku@osaka-bousai.net に空メールを送り、返信メールから登録。 
気象庁	全国の気象情報や地震情報など	https://www.jma.go.jp/jma/